

金沢市従労NEWS

組合設立:1946年 組合本部所在地:〒921-8026 石川県金沢市糸田新町1-30



現在、メジャーリーグ（MLB）の大谷翔平選手は大活躍!!大躍進!!を続けながら、コロナ禍で明るく楽しくなる話題に乏しい現代を日本だけでなく、大国アメリカ全土までも巻き込む"前例のない大記録"を目指して日々奮闘している姿に、我々も含めた多くの『にわかファン達』も含め、小さな子供達からお爺ちゃんとお婆ちゃん世代までが、魅了されながら「一喜一憂」する日々が続いています。【天は二物（四物以上）を与えている!!】

ズバリ大谷選手は **4H**... 足が速い、球速が速い、長距離砲、カッコイイ（ハンサム）等が揃っているところが人気・憧れの象徴でもあり、表舞台で脚光を浴びるべく好成績等は「努力&才能」を大好きなこと（仕事）で開花させた証しであります。お見事

逆に我々『ごみ収集』職員は **4K**... 汚い、キツイ、クサイ、カッコ悪い（世間体）等……。比べるのも



もう1人の人気者にも注目してみた 〇〇 ジャニーズ事務所:アイドルグループ King&Princeリーダー 岸 優太さんが出演したフジテレビの月曜9時ドラマ

『Night・Doctor』～全話平均視聴率11.1%～の最終話で、なんと〇〇の1シーンで、出演者の台詞に「ゴミ処理場の仕事」は、人が生きていく上で"絶対に必要な仕事"でありながら『誰もがやりたがらない仕事』...でも、いつかそんな状況を変えてやる!!（如何にも感動を与える大事な場面）そこから、昔は近寄りたかった「ゴミ処理場」の現場が、今現在は人気の『観光スポット』となって、多くの人達で賑わう場所になったところもある（近未来的な建造物の映像が流れる）と紹介される。【右頁に掲載⇒】

最初は「誰もがやりたがらない仕事」だと思っていたとしても、自分の仕事にちゃんとした夢や誇りを持っていて、それを実現しようという仲間が集まり、いつか誰かの憧れや希望となる職場になれば...（理想論）

「誰もがやりたがらない仕事」=「誰かがしなければならない仕事」

普通なら、その場所（職場）に身を置くうちに頑張り次第では、やり甲斐や方向性が自然と見えてくるのですが...（一般論）。『今は自分がやりたくて、この仕事を続けている』（岸 優太さんの名台詞） 自分は言えるかな??

重要 Point ~ゴミ処理施設は今後の「将来世代」への明るい希望の**光**となる!!~

建築家:谷口吉生(なにかち・よしお)が設計

ゴミ焼却施設のマイナスイメージを隠すことなく、最新鋭の焼却装置を携え近代的な建築物とすることで「関心」を持つ見学者が増加している。



武蔵野大学 工学部建築デザイン学科 教授:水谷俊博(みずたに・としひろ)が設計

「開かれた施設」として塀を無くし、巨大ガラス面からゴミ処理の流れが感じ取れる工夫も特徴。雑木林を表現した壁面緑化で優しさを表現。



ウィーン出身の芸術家(自然保護建築家) フリーデンスライヒ・ファンデルトヴァッサーが設計

壁面のオレンジ色・赤のストライプ模様は「ゴミ焼却時の炎」をイメージされている。巨大な塔は「煙突」。デザイン料は約6600万円。



エッセンシャル・ワーカー と呼ばれる仕事!!

コロナ禍となった昨年末から世間の多くの人から注目が集まるようになり、人が生き続けている限りは「社会」を支える誰かが存在し、当たり前の日常生活を願い叶え、それを維持していくために日夜、重要な役割を担い奮闘を続けています。

エッセンシャル・ワーカー とは人々が「日常生活」を送るために、欠かせない仕事を担っている人のことでもあります。昨今の新型コロナウイルス感染症(変異株等も含む)の影響によって、世界各国で外出自粛やロックダウン等が今もなお、相次いで起きているのが現状です。

そんな最中でも『エッセンシャル・ワーカー』は、あらゆる緊急事態下においても簡単(安易)にストップさせるわけにはいかない仕事に従事する人々等に対して、感謝と尊敬の念を込めた呼称として使われています。

